


## 令和2年度 さいたま市立新開小学校 学校関係者評価書

さいたま市立新開小学校

学校関係者評価委員長 小林 喜雄 

### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数

5名

#### (2) 実施回数

1回(書面会議)

### 2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

#### (1) 学校評価アンケート(児童・保護者)について

- ・「夢にむかってともに学び合う学校」という学校教育目標に向かって、新型コロナ禍においても、きめ細い教育を工夫している。全職員が積極的に日夜努力している。
- ・先生方が児童の学力向上のため、試行錯誤し、授業を行ってくださった結果と思い、感謝している。
- ・学習の定着には、演習量を増やすことが必要なので、家庭学習を促すとよい。学力差もあると思うので、一律、宿題での対応が難しいと思う。学年ごとに強制と自主性のバランスをとって学習量を増やしていけるとよい。
- ・学校が楽しい、という回答が96%で嬉しく思う。悩みや困ったことを先生にお話しできているのもよい。
- ・核家族や共働き家庭が多くなり、親の考え方も多様化、情報過多で大変な世の中だと感じる。社会にも一定のルールがあるように、家族の中でもルールを守ることが大切。

#### (2) いじめ防止について

- ・いじめのない社会は学校・家庭・地域が一体となって、地域の子どもは地域で守り育てなければならない。どんな小さなサインでも見逃すことなく、いち早く愛の手を差し伸べることが大切。
- ・子どもは周囲の大人の行動・言葉を真似て成長していくので、家庭の役割が大きい。
- ・いろいろな人がいるから世の中おもしろい、楽しい、発見がある、発想も生まれる。自分の考えや思いを表現することが大切だと思う。

#### (3) 教育活動全般について

- ・新型コロナウイルス感染症により、子どもたちは不安やストレスが深刻化している。子どもたちがコロナに負けずに心身ともに健やかに成長できるよう、ご指導のほどお願いする。
- ・今年度はコロナの事もあり、学校行事が大きく影響を受け、子どもたちの心にも影を落としている部分もあると思う。早くマスクをはずす日が来てほしい。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- 児童・保護者からは、概ね「分かりやすい授業ができている」と評価されているが、学習内容がしっかり身に付くよう、さらなる授業改革が必要である。GIGAスクール構想のもと、一人一台タブレットを大いに活かし、一人ひとりが主役になる授業を行っていく。そのためにも、校内研修の充実を図り、積極的にタブレットを活用し、授業実践を推進していく。
- より一層の「いじめ・不登校の予防対策」を組織的に行う。児童と担任との面談時間を年間行事に位置づけ、日常はもちろんのこと定期的に児童の様子を把握していく。小さなサインも見逃さず、教職員・家庭が連携して対応し、いじめ防止に努める。不登校に関しては、SC、SSWを効果的に活用し、必要に応じて関係機関とも積極的に連携していく。
- 「開かれた学校づくり」に関しては、情報の発信には努めたが、今年度は授業参観や学校公開日等を開催するのは難しかった。来年度は人数を制限しての授業公開等、開催方法や形態を工夫し、家庭・地域とのつながりを保てるようにしていきたい。

さいたま市立新開小学校長 河井 尚 